

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX122／応用社会経済学2 (Applied Political Economy 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	越境する資本の社会経済学		
担当者名 (Instructor)	柏崎 正憲(KASHIWAZAKI MASANORI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX3110	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

1. 社会経済学の理論を用いて、現実の経済現象を考察する能力を身につける。
 2. 資本主義経済の特徴と問題点を、国際的観点において理解する。
1. To learn how to perform an analysis of economic phenomena, applying the theories of Political Economy.
 2. To understand the features and problems of capitalist economic system from an international perspective

授業の内容(Course Contents)

資本とは本来、価値の越境的な流れである。しかしながら、19世紀における資本の地理的膨脹と比べて、現代における資本のグローバルな運動は、その要因も、様式も、社会的な効果も、大きく異なっている。この授業では、さまざまな歴史的局面において、資本の越境的運動が社会にどのような影響をもたらしたかを考察する。

Capital, as the flow of value, is essentially transboundary. However, what we today call global capital is very different from the geographical expansion of capital in the nineteenth century, in their causes, modes, and social effects. This course will provide an overview of the social impacts that the transboundary movement of capital made in different historical phases.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 理論(1) 資本蓄積と社会関係の変革
3. 理論(2) 分業、国家、国際システム
4. 越境する資本の時代(1) 自由主義
5. 越境する資本の時代(2) 競争的帝国主義
6. 「アメリカの平和」と国際システムの成立
7. 国際化する資本の時代(1) 自由貿易、介入主義、開発主義
8. 国際化する資本の時代(2) 対外直接投資と多国籍企業
9. 1970年代の恐慌と国際システムの再編
10. グローバル資本の時代(1) 金融化と情報化
11. グローバル資本の時代(2) 国家の国際化とリージョン化
12. グローバル資本の時代(3) 社会関係のトランスナショナル化
13. 2008年恐慌と2010年代の国際システム
14. まとめ(筆記試験)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

復習のために、各週の講義内容にかんする「今週の問題」を出しますので、その解答を作成することをつうじて復習してください。模範解答は翌週に提示します。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)／複数回の提出物(50%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. Robert Cox. 1987. *Production, Power, and World Order*. Columbia Univ. Press
2. 柏崎正憲、2015、『ニコス・プーランザス カの位相論 グローバル資本主義における国家の理論に向けて』、吉田書店

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

